

卓話 『これからの時代の学校づくりー異年齢の子どもをつなぐ新たな学び舎の創出』

岡谷市教育委員会 主管主導主事兼学力向上専門官 浜 敦志様 担当:ニコニコBOX委員会

◆会長挨拶

先週の週末には、第4回自然の玉手箱が晴天に恵まれ開催出来ました。また翌日はロータリーデーで市役所周辺の合同清掃活動が行われ、岡谷クラブと合同でボーイスカウト、ガールスカウトも参加して総勢90名で行うことが出来ました。エコが5周年のとき設置したカノラホルの看板もきれいに磨きました。また昨日は刈学のコンペが開催されました。

今回35周年記念事業で支援した中村浩志国際鳥類研究所から来年のライチョウのカレンダーが届きました。ライチョウの四季折々の生態について載っています。価格は1000円で限定300冊だそうです。売上はライチョウの保護活動資金に充てられるそうです。購入は同研究所のHPから申し込み出来ます。よろしければお願いします。また今日お配りしたWEEKLYは35周年の一連の記念事業特別版として作成して頂きました。映像を撮影された方、千葉さん、丸加印刷さんのご尽力で素晴らしいものが出来ました。どうもありがとうございました。

岡工のものづくり支援事業で今回支援したチームが『ロボコンIN 信州2023』のキャリアロボット部門で見事に優勝し、10月末に福井県で開催される全国大会に進む、というご報告をしましたが、ここで開催された『全国高等学校ロボット競技会 (ロボコン)』で参加96校の中で電気部が見事全国4位という素晴らしい成績で入賞しました。長野県勢としては初の入賞とのことで大変喜ばしいです。

さて、最熊の出没が全国で報道されています。10月の熊被害は過去最多の全国で71人、3人が死亡され県内でも犠牲になった方がいて、身近な問題になっています。先日の玉手箱でも上社周辺の里山を歩く予定でしたが、熊に遭遇しないよう安全なコースに変更しました。

知り合いの猟師に熊のことをお聞きしましたら、今年は山で餌のドングリが凶作となっていて里に下りてきてしまうとのこと、また熊の子育ては3年サイクルでその節目には熊が増える傾向にあるそうです。熊はとても利口な動物なので、人間の気配を察知すれば向こうから逃げますと、大勢で賑やかに行動すること、熊鈴などを付けてこちらの存在を知らせること、嗅覚がとても鋭く人間の匂いや気配を察知する能力もとても高いそうなのでこちらから知らせることが大事とのことでした。熊はそもそも個体数が大変少なく、その方は昨年120キロの獲物を仕留めていますが、猟師といえど一生に一度撃てるチャンスがあるかどうかだそうです。昔から熊に会ったときは死んだフリをすればいいと言われていますが、死んだふり、全く駄目だそうです。また12月頃冬眠に入るのですれまでは山に入るときは注意とのことでした。

◆11月誕生日祝い



田中輝明・熊澤祥吉・小松市男・早出隆幸・宮坂大吾・丸茂仁志 各会員

◆幹事報告

- ・11月の地区月信 (回覧)
- ・本日例会終了後 第9回理事会を開催
- ・11月13日 (月) 地区大会振替休日・20日 (月) 準法定休日
- ・11月26日 (日) 中学1年生 少年野球大会

◆委員会・同好会報告

《国際奉仕委員会》

- ・ナパステ・パトラ No86号 配布 P9 日本からの教育支援 再来年に35周年を迎えます 2025年末を日本からの支援の一区切りとしたい。2026年 35年間の成果を報告の予定 ※35周年事業としてどうか？

《社会奉仕委員会》

- ・第272回自然の玉手箱 報告 諏訪湖ワカサギ釣り / 諏訪大社上社 児童30名 先生3名
- ・次回 第273回 自然の玉手箱「注連飾り作り」12月16日 (土) マリオ

《公共イメージ向上委員会》

- ・11月ロータリーの友紹介 グローバル補助金について (事例) ロータリーの友電子版について

《酒食学》

- ・11月18日 (土) 6:00 ~マリオ 丸茂会員おすすめ「ボジョレーヌーボを楽しむ会」

《刈学》

- ・11月5日 (日) 秋の刈学研修会報告 12名参加 優勝:黒畑悦良会員 準優勝:小野繁男会員

◆卓 話

◆これからの時代の学校づくり ―異年齢の子どもをつなぐ新たな学び舎の創出―
浜 敦志様



◎川岸学園構想について

川岸小学校の長寿命化大規模改修に合わせて、切れ目のない一貫した教育を提供する「施設一体型義務教育学校」の設立と、公立の幼保連携型認定こども園を校地内に併設することにより、異年齢の子どもをつなぐ新たな学び舎の創出を目指す

◎義務教育学校とは（要件等）

組織・運営：一人の校長、一つの教職員組織
免許：原則小学校・中学校の両免許状を併有
教育課程：9年間の教育目標の設定 9年間の系統性・体系的に配慮された教育課程の編成
教育課程の特例：一貫教育に必要な独自教科の設定が可能 指導内容の入替、移行が可能
施設形態：施設一体型・施設隣接型・施設分離型設置手続き：市町村の条例◎義務教育学校に幼保連携型認定こども園を併設すると…

義務教育学校：一人の校長の下、一つの教職員組織が置かれ、義務教育9年間の学校教育目標を設定し、9年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施する学校のこと。更に認定こども園を併設することにより、12年間（15年間）の育ちや学びをつなぐことが可能に。

◎義務教育学校・こども園併設により可能となること
幼保・小接続期、小・中移行期の段差を緩和小・中学校の学年段階の区切りを柔軟に設定可能 ⇒ 接続の円滑化

◎義務教育学校・こども園併設により取り組めるようになること

- ・多様な異学年・異年齢交流の実施
- ・区切りの節目を活用して成長を促す行事や校舎配置等の工夫⇒リーダー性を育成
- ・一貫性を確保した教育課程の編成・実施⇒9年間（12年間）の連続した学びや育ちに向けた教育課程⇒学び直しの機会、系統的な家庭学習⇒学習や生活ルールの統一 … 児童生徒の安心
- ・小学校での教科担任制及び小・中相互の乗り入れ指導の実施⇒専門性の高い教員の指導による授業の質の向上⇒小中教員による継続した指導 … 同じ先生がいる安心感

◎義務教育学校・こども園併設により可能となる具体的な活動例

- ・小学校低学年・保育園での英語教育の早期導入
- ・小中合同の英語の授業
- ・保小中合同の交流給食
- ・保小中交流行事の実施（縦割り活動等）
- ・中学生による保育園、小学校低学年での読み聞かせ

- ・中学生の小学校児童への指導や支援
- ・中学生の小学校クラブ活動への参加
- ・保育園職場体験（キャリア教育）の日常化
- ・学習規律・家庭学習の統一化
- ・高学年児童の部活動へ参加（体験含む）
- ・小中一貫教科等の合同体験、発表学習
- ・小中合同の児童会・生徒会活動

◎施設一体型義務教育学校のメリット

◇児童生徒「小一プロブレム」「中一ギャップ」の緩和／児童生徒の学習意欲の向上、学習習慣の定着／自己肯定感の高まり／児童生徒の交流の深まり／いじめ、不登校、暴力行為等の減少／情意面の育ち

◆教職員 指導内容の系統性についての理解の深まり／教科指導力・生徒指導力の向上／教職員の協働意識／保護者・地域との協働関係の強化／校務分掌・学校運営の効率化／幼児教育、学校教育についての相互理解

◎岡谷市における小中連携の取組 ―小中学びの連携（H28～）―

◇学びの連携Ⅰ 6月頃

いじめ根絶子ども会議Ⅰ・Ⅱ／6年生による中学校の授業参観

◇学びの連携Ⅱ

岡谷市教職員研修会7月24日（月）／いじめ根絶子ども会議Ⅲ7月25日（火）

◇学びの連携Ⅲ 9月～11月

小学校教員が中学校の授業参観・協議／中学校教員が小学校の授業参観・協議

◇学びの連携Ⅳ 2月

中学校体験授業、先輩による学校紹介等

◆10月29日（日）7時～ ロータリー奉仕デー 「カノラ周辺の清掃活動」

岡谷RC・ボーイスカウト・ガールスカウト 合同エコー参加 20名



—— ラッキーナンバー・ニコニコBOX・出席報告 ——

- ラッキー No.28 吉池雅志会員 ニコニコするメッセージをお寄せ下さい
- ニコニコBOX 42,000円
- 出席報告
会員数 47名 出席 29名 欠席 18名
出席率 61.7% 訂正 74.4%

今週のプログラム 11月12日(日) AM10:30
キッセイ文化ホール／地区大会

次週のプログラム 11月27日(月) PM0:30
マリオ／卓話 クラブ奉仕委員会